

# 第 16 期事業報告

自:2020 年 7 月 1 日

至:2021 年 6 月 30 日



## 1. 事業の概況

公益財団法人日本バレーボール協会から独立法人化して16年目を迎えた一般社団法人日本バレーボールリーグ機構はチームが主体となってホームゲームを運営する形態に舵を切り3年目を迎えました。今年度は2019年末から猛威を振るう、新型コロナウイルスとの戦いの1年でした。国民の皆さまの生命と健康を守ることを最優先と考えながら、その中で、「スポーツの果たすべき役割は何か」、「バレーボールのトップリーグであるV.LEAGUEにできることは何か」を問われ続けました。事前の想定を超える事態に見舞われる中で、当機構所属チームが一丸となって議論を尽くし決断し、各事業を遂行してまいりました。

以下、第16期事業年度の概況を取りまとめご報告いたします。

2020年9月30日に開催した第15回定時社員総会において、理事の任期満了に伴い改選となり、新たに理事15名を選任いたしました。社員総会で選任された理事および監事により開催した、第16期第1回理事会において嶋岡健治代表理事会長、三好徹副会長の再任と、國分裕之副会長、福田峰夫副会長の新任を決定しました。尚、2021年4月30日付で嶋岡健治代表理事会長、三好徹副会長が一身上の都合により退任することとなったため（理事としては留任）、4月21日に開催した第16期第9回理事会にて、國分裕之新代表理事会長を選任し5月1日付で就任しました。また、第15回定時社員総会にて、一般社団法人千葉ライズ（千葉ZELVA）、株式会社クボタ（クボタスピアーズ）、アイシン辰栄株式会社（アイシンティルマーレ）、株式会社プロス（フォレストリーヴズ熊本）の4法人の入社承認を行い、当機構の法人数は49法人（50チーム）となりました。

2020-21 V.LEAGUEは公益財団法人日本バレーボール協会の要請により、2021年に延期となった東京オリンピックの強化計画に協力するために、特にDIVISION1は例年と比較して開催期間を短縮する形でリーグ戦を開催しました。その一方でDIVISION1 WOMENは初の試みとして、リーグ戦全日程終了後に日本代表選手不在の中で若手選手の育成強化を目的としたV Cupを開催いたしました。

新型コロナウイルスの感染拡大が広がる中で開幕した2020-21 V.LEAGUEは政府の方針に従い、シーズンを通じてアリーナ収容客数の50%に入場者数を制限して大会を開催しました。大会期間中の2021年1月7日には、政府より緊急事態宣言が発令されたこともあり、多くの試合が大会の中止やリモートマッチ（無観客試合）での開催を余儀なくされたほか、DIVISION2はシーズン途中に開催要項の変更をすることで何とか大会を成立することができました。また、リーグ戦以外でも2020年12月26日に開催を予定していた2020-21 V.LEAGUE DIVISION1 MEN ALL STAR GAME in HIRAKATA（パナソニックアリーナ/大阪府枚方市）が中止となり、2021年4月3日、4日に開催を予定していたV・チャレンジマッチ男子大会も中止（5月4日、5日に延期・再試合）を余儀なくされました。新型コロナウイルスの感染拡大状況が日々刻々と変化する中で、対応の難しさを痛感したシーズンとなりました。

大会に関わる全ての人々が安心・安全な環境下で大会を開催するために、新型コロナウイルス対策規程及び新型コロナウイルス対策ガイドラインを策定し、感染防止策を徹底の上、大会の開催に努めました。新型コロナウイルス対策費用を予算化し、Vリーグ登録する全選手・スタッフ及びVリーグ機構から大会に派遣するJURYとVレフェリーには月に一度のPCR検査受診を義務化したほか、大会会場で使用使用するアルコール消毒液を一括購入しホームチームに配布しました。また、会場への入場制限やリモートマッチの開催により、会場に来たくても来ることができないファンの皆さまに自宅で試合を観戦いただけるよう、オフィシャルブロードキャスティングパートナーのDAZNによるDIVISION1の配信に加え、DIVISION2とDIVISION3及びV Cupも全試合V.TVでライブ配信を行いました。チ

ームに対するサポートとしては、入場者制限に伴うホームゲームの入場料収入が減収となることから、ホームゲームの開催権譲渡金を一律 50%減額したほかリモートマッチの会場については、大幅な減額を行いました。また、新型コロナウイルスに関わる事由による突然の試合中止等に伴うチームの損失の一部補填として、総額で 14,316 千円を損失補填金としてチームに交付しました。このような新型コロナウイルス対策に関わる予算化と減収分を補うために、スポーツ庁の「スポーツイベントの再開支援事業補助金」を積極的に活用しました。また、2019-20 シーズンまで実施していた、DIVISION1 全会場への大型 LED ビジョンの持ち回りとタラフレックス及びカラーコート の敷設を 2020-21 シーズンは取りやめ、DIVISION1 のチームへの交通費の支払を一律 10%削減したほか、全カテゴリーの賞金を一律 50%削減して新型コロナウイルス対策予算の確保に努めました。

また、2020-21 シーズンは新型コロナウイルス対策の観点から人と人との接触を限りなく制限するために、チームが主催するバレーボール教室の多くが中止となったほか、大会会場内でのファンサービスも限定的なものとなりました。このように、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた 2020-21 V.LEAGUE は例年のような大会開催を行うことはできませんでしたが、我が国の 6 人制バレーボールのトップリーグとして最高峰の試合をファンの皆さまに楽しんでいただくべく、DIVISION1 で採用しているホークアイ社のチャレンジシステムは継続採用したほか、安心・安全を確保した上で、ホームゲームは各チームで趣向を凝らした取組みが行われました。また、V アプリでのチケット発券サービスの実施や、オフィシャルソングの継続採用等、トップリーグに相応しい競技・観戦環境の整備に取組みました。

V リーグ機構の活動成果を経営数値で見ますと、収入面では、新型コロナウイルス対策により、開催権譲渡金収入及び入場料収入が大幅に減収となり、収入総額は 1,037,414 千円(対前期▲45,279 千円減)となりました。費用面では、主要大会中止による影響は費用負担の減少となり、費用総額は 987,727 千円(対前期▲49,144 千円減)となりました。この結果、経常利益は 49,703 千円(対前期 3,678 千円増)、当期純利益は 36,863 千円(対前期▲3,928 千円減)となり、前年並みの利益となりました。V リーグ機構の決算の場合、収入減少と費用の減少が起こり、会計上は収益が改善する傾向となります。例えば、V リーグジュニア選手権やアジアクラブ選手権派遣の収入はほぼなく、費用のみを予算化している場合、これが中止となると会計上収益は改善することになります。もちろん、企画している事業が出来ないことは、とても残念なことですが、会計上の動きはこのような形となります。

以下、事業内容を、詳述いたします。

## 2. 事業内容

### (1)V.LEAGUE DIVISION1

2020-21 V.LEAGUE DIVISION1 MEN は 10 チームの参加により 2020 年 10 月 17 日に日本製鉄堺体育館(大阪府堺市)、パナソニックアリーナ(大阪府枚方市)、スカイアリーナ(大阪府箕面市)、ジェイテクトアリーナ奈良(奈良県橿原市)、昭和電工武道スポーツセンター(大分県大分市)の 5 会場で開幕し、4 回戦総当たり方式による V・レギュラーラウンド 180 試合と上位 3 チームによる V・ファイナルステージ 2 試合で計画しましたが、V・レギュラーラウンドは新型コロナウイルスの影響により 12 試合がリモートマッチになり、5 試合が中止となりました。V・レギュラーラウンド優勝のサントリーサンバーズとファイナル 3 を勝ち上がったパナソニックパンサーズによるファイナルは、2021 年 4 月 4 日に船橋アリーナ(千葉県船橋市)で開催し、サントリーが 14 年ぶり 8 度目の優勝を飾りました。

2020-21 V.LEAGUE DIVISION1 WOMEN はこのシーズンよりカンファレンス制を廃止し、12 チームの参加により 2020 年 10 月 17 日にアダストリアみとアリーナ(茨城県水戸市)、松任総合運動公園体育館(石川県白山市)、SAGA サンライズパーク総合体育館(佐賀県佐賀市)の 3 会場で開幕し、2 回戦総当たり方式による V・レギュラーラ

ウンドを行いました。V・ファイナルステージはV・レギュラーラウンドの上位4チームによる優勝決定戦を大田区総合体育館(東京都大田区)にて、中位4チームによる5～8位決定戦を埼玉県立武道館(埼玉県上尾市)にて、下位4チームによる9位～12位決定戦を池の川さくらアリーナ(茨城県日立市)で開催しました。新型コロナウイルスの影響によりV・レギュラーラウンド132試合のうち47試合がリモートマッチとなり、11試合が中止となりました。また、V・ファイナルステージも12試合のうち4試合がリモートマッチでの開催を余儀無くされました。セミファイナルを勝ち上がった、東レアローズとJTマーヴェラスの対戦となったファイナルはJTが勝利し、2年連続3度目の優勝を飾りました。

男女合計で310試合をのべ246会場(男子160会場、女子86会場)で開催することができました一方、そのうちリモートマッチを余儀無くされた試合が63試合あり、16試合が中止となり延期・再試合の設定を行うことができませんでした。観戦入場者数をみると、大会合計で205,774人(対前年比194,871人減)、MENは144,091人(対前年比72,473人減)、WOMENは61,683人(対前年比122,398人減)、となりました。1開催日平均では、MENが901人(対前年比1,840人減)、WOMENが717人(対前年比1,584人減)でした。

テレビ放送及び配信に関しては、オフィシャルブロードキャスティングパートナーであるDAZNにおいてDIVISION1合計115試合がライブ配信され、195試合をVリーグ公式動画配信サービスV.TVにて「DAZN on V.TV」として、ライブ配信とオンデマンド配信を行いました。また、今シーズンはDIVISION2とDIVISION3の全試合ならびにV Cup、V・チャレンジマッチも全試合、V.TVにてライブ配信とオンデマンド配信を行いました。

テレビ放送については、BS(NHK BS1、BSフジ)、CS(GAORA)、地上波(ローカル)の放送も昨年同様放送されました。

## (2)V.LEAGUE DIVISION2・3

2020-21 V.LEAGUE DIVISION2 MENは新型コロナウイルスの影響に鑑み、シーズン開幕前に2チームが参戦を辞退し、11チームによる2回戦総当たり方式で開催しました。2020年10月17日にアドストリアみとアリーナで開幕し全110試合を開催する予定でしたが、シーズン途中で新型コロナウイルスの影響により33試合が中止、52試合がリモートマッチの開催を余儀無くされました。中止した試合の代替試合の開催の見通しが立たず、V2男子の特例措置として中止した試合の取扱いを変更し、なんとか大会として成立することができました。大会は富士通カワサキレッドスピリッツが4年連続5度目の優勝を飾りました。

2020-21 V.LEAGUE DIVISION2 WOMENは9チームによる3回戦総当たり方式で開催しました。2020年10月30日に上田市自然運動公園総合体育館(長野県上田市)、熊本県立総合体育館(熊本県熊本市)で開幕し全108試合を開催する予定でした。しかし、新型コロナウイルスの影響により54試合が中止、14試合がリモートマッチでの開催を余儀無くされました。中止した試合の代替え試合の開催の見通しが立たなかったため、シーズン途中で開催要項の大会方式を9チームによる2回戦総当たり方式に変更し、なんとか大会を成立することができました。大会は群馬銀行グリーンウイングスが2年連続2度目の優勝を飾りました。

男女合計で137試合をのべ87会場(男子52会場、女子35会場)で開催することができた一方、そのうちリモートマッチを余儀無くされた大会が66試合あり、87試合が中止となり延期・再試合の設定を行うことができませんでした。観戦入場者数をみると男女合計で26,085名(対前年比47,055人減)、MENは14,853人(対前年比21,372人減)、WOMENは11,232人(対前年比25,683人減)となりました。1開催日平均ではMENは323人(対前年比261

人減)、WOMENは340人(対前年比499人減)でした。

2020-21 V.LEAGUE DIVISION3 MENは新型コロナウイルスの影響に鑑み、シーズン開幕前に2チームが参戦を辞退し、4チームによる3回戦総当たり方式によるリーグ戦を開催しました。2021年1月9日に開幕を予定していましたが、1月7日に政府より緊急事態宣言が発出されたことに伴い、開幕戦を含む6試合が中止・延期となり代替試合の設定を行うことができませんでした。大会は近畿クラブスフィーダが初優勝を飾りました。のべ6会場12試合の開催で観戦入場者数は1,347人(対前年比6,962人減)、1開催日平均では225人(対前年比237人減)となりました。

2020-21 V.LEAGUEは政府の方針による観戦入場者数の制限や、新型コロナウイルス感染者の発生等に伴う、試合の中止なども影響し、観戦入場者数はいずれの категорияも軒並み前年度比で大幅に減少する結果となりました。

### (3)V・チャレンジマッチ

2020-21V・チャレンジマッチ女子大会は2021年4月3日、4日に長岡市民体育館(新潟県長岡市)にて開催しました。DIVISION2優勝の群馬銀行グリーンウイングスがDIVISION1・12位のKUROBEアクアフェアリーズと、DIVISION2準優勝のルートインホテルズブリリアントアリーズがDIVISION1・11位のトヨタ車体クインシーズと2戦方式で対戦しました。結果はKUROBEとトヨタ車体がそれぞれ2連勝し、DIVISION1残留を決めました。

男子大会は2021年4月3日、4日に船橋アリーナ(千葉県船橋市)で開催を予定していましたが、参加チーム関係者から新型コロナウイルス陽性者が発生したことに伴い、中止・延期を決定しました。再試合として2021年5月4日、5日に三重県営サンアリーナ(三重県伊勢市)にてリモートマッチで開催した大会は、DIVISION2準優勝のヴォレアス北海道とDIVISION1・10位の大分三好ヴァイセアドラーが対戦し、対戦成績1勝1敗となりましたが、大分三好がポイントの差で勝利し、DIVISION1残留を決めました。

### (4)その他大会

#### ① 2020-21 V.LEAGUE DIVISION1 WOMEN V Cup

2020-21 V.LEAGUE DIVISION1 WOMEN終了後に初の試みとして、V Cupを開催しました。この大会は日本代表選手不在の中で若手選手の育成強化を目的に、全12チームが参加し2021年2月27日～3月28日に開催しました。12チームを2グループに分け1回戦総当たり方式による予選ラウンドをと各グループ上位2チームによるファイナルラウンドを行いました。予選ラウンドはのべ14会場で30試合の開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響により4試合が中止となり、8試合がリモートマッチでの開催を余儀なくされました。セミファイナルを勝ち上がったNECレッドロケッツと埼玉上尾メディックスの対戦となったファイナルは埼玉上尾が勝利し、初優勝を飾りました。

#### ② 2020 V・サマーリーグ

2020 V・サマーリーグ西部大会は2020年6月26日～28日に黒部市総合体育センター(富山県黒部市)で、西部大会は2020年7月3日～5日にスカイホール豊田(愛知県豊田市)で開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を考慮して中止としました。

### ③ 2020-21 V.LEAGUE DIVISION1 MEN ALL STAR GAME in HIRAKATA

V.LEAGUE DIVISION1 MEN のオールスターゲームを2020年12月26日にパナソニックアリーナ(大阪府枚方市)にて開催すべく準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染拡大を考慮して中止としました。

### ④ 2020V リーグジュニア選手権大会

2020V リーグジュニア選手権大会は2020年8月22日、23日に安濃中央総合公園体育館、芸濃総合文化センター内アリーナ(ともに三重県津市)で開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を考慮して中止としました。

### ⑤ 2021 アジアクラブ選手権大会

2021 アジアクラブ選手権大会は、新型コロナウイルスの感染拡大のため女子は2021年9月、男子は10月に延期となりましたが、出場予定国に渡航中止勧告・入国後の行動制限措置があり、男女大会とも出場辞退を決定しました。

## (5) 広報／プロモーション活動

### ① 記者会見

2020-21 V.LEAGUE 大会要項・大会日程発表記者会見を2020年7月1日にオンライン形式で開催しました。コロナ禍の中で開催するシーズンの大会開催方針についてもこの記者会見の中で発表しました。

2020-21 V.LEAGUE WOMEN の開幕を2週間後に控えた、2020年10月1日には開幕記者会見を、10月5日にMEN の開幕記者会見をそれぞれオンライン形式にて開催しました。DIVISION1～DIVISION3 まで出場全チームから男女計63選手が参加し、会見とトークセッションを通じて大会の魅力と意気込みをPRしました。また、この会見の中で、2020-21 シーズンのスローガンを“Set to Tomorrow”とすることを発表しました。

また、2021年4月21日にオンライン形式で記者会見を開催し、4月30日付で嶋岡健治代表理事会長の退任と5月1日付で國分裕之新代表理事会長の就任を発表しました。

### ② 2020-21 V.LEAGUE オフィシャルソング

2019-20 シーズンに引き続いて、3MC+1トラックメイカーのポップグループ SHIKURAMEN(シクラメン)が歌う「V-栄光の歌-」をオフィシャルソングに採用しました。DIVISION1 MEN 開幕記者会見や男女のファイナルにも出演し、トークと歌で2020-21 シーズンを盛り上げてくれました。

### ③ V.LEAGUE コラボレーション

#### □ V.LEAGUE ×「ハイキュー!!」

「週刊少年ジャンプ」(株式会社集英社)で連載していた次世代王道スポーツ漫画『ハイキュー!!』とのコラボレーションイベントとして、「ハイキュー!!×V.LEAGUE SPECIAL MATCH 2020」を2020年8月16日にカメイアリーナ仙台(宮城県仙台市)にて開催しました。株式会社集英社主催(Vリーグ機構協力)で開催したこのイベントは、V.LEAGUE DIVISION1 MEN のチームから選抜された選手が、原作に登場する「シュヴァイデンアドラーズ」と「MSBY ブラックジャッカル」の2チームに分かれ、両チームのユニフォームを着てエキシビションマッチを行いました。

た。大会はリモートマッチでの開催となりましたが、集英社公式 You Tube チャンネルと V.TV にて 16 万人以上の方から視聴をいただきました。

#### □V.LEAGUE × 東ハト

2018-19 シーズンから毎年行っている、株式会社東ハトの受験生応援商品とコラボレーションし、リベロ=ボールを「落とさない」という<sup>げんかつぎ</sup>験担ぎとして、受験生応援 SNS キャンペーン「#リベロからのお守り」を展開しました。東ハト社公式サイト「カナエル神社」にはブイリー・ブイきちデザインの絵馬なども登場し、相互送客を図りました。

#### □V.LEAGUE × 宣伝会議

「コピーライターの登竜門」と言われる株式会社宣伝会議の宣伝会議賞とのコラボレーション企画を実施、中高生部門特別課題【部活動の価値を伝えるキャッチフレーズ】の応募者へ Vリーグ所属選手がエールを送り、幅広い層への認知拡大に努めました。

### ④ プロモーション活動

#### □V.LEAGUE オフィシャルファンサイト

2018-19 シーズンから新サイトへ移行した「V.LEAGUE オフィシャルファンサイト」は、2020-21 シーズンもファンの皆様に楽しんでいただけるコンテンツの作成や迅速な情報の提供に努めてまいりました。シーズンを通しては 2020 年 10 月 17 日の DIVISION1 MEN & WOMEN の開幕日が 1 日あたりの最も多くのページビュー数 (287,946PV) を獲得しました。また、2020-21 シーズンは新型コロナウイルス対策に関するページを設け、ファンの皆さまが安心・安全にアリーナで観戦いただくための情報発信に努めました。

#### □公式 SNS (Twitter、Instagram、Facebook、YouTube)

公式ホームページでは紹介しきれない情報や、一般報道では伝えられない選手関連情報、試合映像や写真の紹介、また選手のサイン入りグッズをプレゼントするキャンペーンなどを実施しています。今後も写真や動画を掲載し、幅広い世代のファンの皆さまにアプローチし、様々な最新情報やアリーナ外でも楽しめるコンテンツの提供に努めてまいります。2021 年 5 月 1 日時点の各公式 SNS のフォロワーは Twitter/142,822 名、Instagram/58,713 名、Facebook/24,659 名、YouTube/49,400 名となりました。

#### □Vリーグ公式チケット販売サイト(V チケ)

Vリーグ公式チケット販売サイトとして、Vリーグのチケットを販売しました。新型コロナウイルス感染拡大防止策として、全席指定席販売、1人あたりの購入可能枚数の上限を 5 枚に設定する等、チケット販売におけるガイドラインを策定しました。また、アリーナ入場時には V アプリを利用した電子チケット引き取りを推奨するなど、機能を活かした感染拡大防止策に努めました。V チケ会員数は 2021 年 4 月 6 日時点で 87,809 名となりました。

#### □Vリーグ公式アプリ(V アプリ)

「V アプリ」ではファンの皆様が知りたい情報や、会場来場時に便利で楽しめる各種サービスを提供しています。2019-20 シーズンより、Vリーグチケットとも連携をし、V アプリ内での発券サービスを開始しました。また、V アプリの来場チェックインやスタンプ機能を活用したホームゲームイベントの実施も行いました。2021 年 4 月 6 日時点での V



アプリ会員数は 33,666 名となりました。

## ⑤ 映像配信

### □オフィシャルブロードキャスティングパートナー・DAZN

DAZN では DIVISION1 の 115 試合をライブ中継、また試合開催 7 日後まで見逃し配信を実施しました。臨場感のある映像と、経験豊富な解説者とともに、V.LEAGUE の面白さが体験できるコンテンツをお届けしました。

### □V.TV

DIVISION1 の 195 試合を『DAZN on V.TV』としてライブ配信したほか、昨年度に引き続き DAZN に加入すれば、V.TV が無料で視聴できるキャンペーンを実施しました。また、2020-21 シーズンは DIVISION2 の全試合 (MEN85 試合、WOMEN55 試合) と、DIVISION3 MEN の全 12 試合、さらには V・チャレンジマッチの全 6 試合と DIVISION1 WOMEN V Cup の全 30 試合も全て V.TV でライブ配信とオンデマンド配信しました。合計で 2020-21 シーズンの配信試合数は 383 試合となりました。2021 年 6 月 30 日時点での会員数は無料会員 52,969 名、有料会員 7,618 名となりました。V.TV では今後もファンの皆さまがいつでも、どこでも Vリーグを楽しむことができるよう、コンテンツの充実を図ってまいります。

## (6) 社会貢献活動

### ①日本骨髄バンク支援活動

Vリーグ機構では、社会貢献活動の一環として、2006/07 シーズンより公益財団法人日本骨髄バンクへの支援活動を行ってきました。2020-21 シーズンも全国各地の V.LEAGUE 大会の会場に横断幕やのぼりを設置し、公式サイトや会場ビジョンを利用してドナー登録の紹介を行う等、骨髄バンクの活動を啓蒙いたしました。

## (7) 普及活動

### ①V・明日夢(みらい)プロジェクト

「V・明日夢(みらい)プロジェクト」は、2012 年 11 月にスタートし、全国でバレーボールの普及に努めてきました。Vリーグ選手の OB/OG で構成する講師の登録数も 120 名を超えました。今年度は新型コロナウイルスの影響により、その活動は限定的なものとなりました。

### □「V・明日夢プロジェクト」バレーボール教室

今年度の V・明日夢プロジェクトバレーボール教室は全国 7 会場での開催に留まりました。いずれの会場においても感染拡大防止策を講じた中での実施となりました。教室は株式会社ビジネスブレイン太田昭和協賛などにより行われ、小中高生などを対象にのべ 717 名が参加し、講師はのべ 19 名が参加しました。

### □V・明日夢プロジェクト・武蔵野市内小中学校訪問 活動記録

東京都武蔵野市教育委員会にご協力いただき、武蔵野市内の小中学校 10 校へ訪問し、バレーボールの素晴らしさを伝えました。

### □日野市立三沢中学校女子バレーボール部 with V・明日夢プロジェクト

東京都日野市からの依頼を受け、V・明日夢プロジェクトでは2020年7月～2021年4月までの期間、三沢中学校への部活動指導を16回行いました。2021年4月からは大坂上中学校の部活指導を行いました。

## (8) 研修会・委員会活動

### ① プレーヤーズミーティング・若手研修会

プレーヤーズミーティングにはVリーグ各チームから52名、若手研修会には96名が参加しました。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から初めて、WEB方式にて実施しました。内容は共通研修として、コンプライアンス研修やアスリートと睡眠についての研修に加え、プレーヤーズミーティングではグループディスカッションも行いました。

開催期間:	2020年6月15日～26日
開催方式:	WEB研修会方式
出席対象者:	【プレーヤーズミーティング】 Vリーグ各チーム代表選手 【若手研修会】 Vリーグ所属3年目までを目安とした若手選手

### ② 2020-21 V.LEAGUE キックオフミーティング

キックオフミーティングを開催して、V.LEAGUE大会の運営に関する説明を行いました。今年度はWEB方式で開催しました。参加者には事前に説明内容を配信動画で確認していただき、別途質問会を設けて参加者の疑問に答えました。また、今年度は各会場での新型コロナウイルス対策を重点的に説明すべく2回に分割して実施しました。

開催期間:	【第1回】2020年7月15日～ 【第2回】2020年9月19日～
質問会:	【第1回】2020年7月18日14:00～16:00 【第2回】2020年9月26日15:00～16:30
開催方式:	WEB会議方式
出席対象者:	V.LEAGUEチーム担当者、JVA、都道府県バレーボール協会、 全国ブロック理事長、JURYなど

### ③ JURY 会議

JURYが一堂に会し、2020-21 V.LEAGUEの運用の確認を行いました。

開催日:	2020年9月19日13:00～17:00
開催方式:	WEB会議方式
出席対象者:	JURY

### ④ レフェリークリニック

2020-21 V.LEAGUEの運用の重要事項を確認するレフェリークリニックを開催しました。

開催日:	2020年9月20日10:00～12:30
開催方式:	WEB会議方式
出席対象者:	JURY、Vレフェリー、V.LEAGUEチーム監督

## ⑤ ゲームコーディネーターミーティング

大会の競技以外部分の全体のコントロールを行う、ゲームコーディネーターが集まり、その役割と今シーズンの運用等について確認を行いました。他の会議同様 WEB 方式で開催しました。参加者には事前に説明内容を配信動画で確認していただき、別途質問会を設けて参加者の疑問に答えました。

開催期間:	2020年9月19日～
質問会:	2020年9月26日13:00～14:30
開催方式:	WEB会議方式
出席対象者:	ゲームコーディネーター

## ⑥ 新型コロナウイルス対策責任者会議

新型コロナウイルスの影響下で大会を開催するにあたり、大会に関わる全ての人が安心・安全な環境で開催できるように、各会場でコロナ対策を行う責任者が集まり、対策責任者会議を開催しました。

開催日:	2020年10月2日(金)13:30～16:30
開催方式:	WEB会議方式
出席対象者:	新型コロナウイルス対策責任者

## ⑦ 各種委員会活動

Vリーグ機構の委員会は、理事会・運営会議等のVリーグ機構主要会議により発議発案された課題や問題など、主にVリーグ機構運営上の重要問題に関して会長が諮問するテーマについて、理事・チーム代表・事務局・外部有識者などが委員となり、研究内容・方向性・一定の結論などを運営会議で報告・提案や理事会・会長に答申する役割を担っています。

主要な小委員会として「技術情報委員会」、「ライセンス審査委員会」、「Vリーグ審判運営委員会」、「規程・マニュアル委員会」、「コンプライアンス委員会」などがあり、活動を行いました。また、今年度より目下の新型コロナウイルス対策や、Vリーグ選手を医科学的観点からの支援することを目的に「メディカル委員会」の活動を本格化させました。

## (9) 助成金

独立行政法人日本スポーツ振興センターより、我が国における国際競技力の向上を期すための国の助成金制度「競技強化支援事業助成金(国庫基金)」(2003年度～)および「スポーツ振興くじ助成金」(2011年度～)の交付を受けています。今年度については、両助成金で55,191千円の交付を受け、マネジメント機能強化、研修会やDIVISION1の活性化及びDIVISION2・3の強化育成・活性化に活用しました。今年度までの交付累計受入額は651.5百万円に達しています。

今後とも制度の主旨に沿った有効活用を心がけ、改善改革に努め、組織基盤の強化を図り、バレーボール界の普及・発展に邁進してまいります。

## (10) 協賛金

今シーズンもDIVISION1への多くの企業より協賛をいただくことができました。協賛いただきました各企業の皆様

と、お世話になりました株式会社電通ならびに排球堂マーケティング株式会社に厚く御礼申し上げます。

2020-21 V.LEAGUE は新型コロナウイルスの影響により多くの大会の中止や延期を余儀無くされ、事前の想定を超える事態に見舞われる中で、時には苦渋の決断を迫られたシーズンでした。これは、当機構のみに言えることではなく、スポーツ界全体、日本全体が新型コロナウイルスの猛威に翻弄された1年間となりました。

来年度も新型コロナウイルスとの戦いは続きます。全ての人々がこれまでの日常とは異なる生活を送る中で、「スポーツの果たすべき役割」、「バレーボールトップリーグが求められる価値」とは何なのかを所属チームと共に考え取り組んでまいります。

社員の皆様におかれましても、Vリーグ機構、日本バレーボール界の発展のため、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 3. 社員一覧

\*社員名、チーム名は2021年6月30日現在（順不同）

社員名	チーム名	区分	基金の口数	基金の額（円）
公益財団法人日本バレーボール協会			12	6,000,000
岡山シーガルズ株式会社	岡山シーガルズ	女子	1	500,000
サントリーホールディングス株式会社	サントリーサンバーズ	男子	1	500,000
株式会社デンソー	デンソーエアリービーズ	女子	1	500,000
東レ株式会社	東レアローズ	男子	1	500,000
	東レアローズ	女子	1	500,000
TG SPORTS 株式会社	ウルフドッグス名古屋	男子	1	500,000
日本たばこ産業株式会社	JT サンダーズ広島	男子	1	500,000
	JTマーヴェラス	女子	1	500,000
日本電気株式会社	NEC レッドロケッツ	女子	1	500,000
SAGA 久光スプリングス株式会社	久光スプリングス	女子	1	500,000
日立オートモティブシステムズ株式会社	日立リヴァーレ	女子	1	500,000
株式会社ブレイザーズスポーツクラブ	堺ブレイザーズ	男子	1	500,000
パナソニック株式会社	パナソニックバンサーズ	男子	1	500,000
一般社団法人上尾中央医科グループ協議会	埼玉上尾メディックス	女子	1	500,000
株式会社大野石油店	大野石油広島オイラーズ	女子	1	500,000
近畿クラブ	近畿クラブスフィード	男子	1	500,000
警視庁特科車両隊	警視庁フォートファイターズ	男子	1	500,000
株式会社ジェイテクト	ジェイテクト STINGS	男子	1	500,000
医療法人青雲白鷺会三好内科・循環器科医院	大分三好ヴァイセアドラー	男子	1	500,000
大同特殊鋼株式会社	大同特殊鋼レッドスター	男子	1	500,000
一般社団法人つくばユナイテッドサンガイア	つくばユナイテッド SunGAIA	男子	1	500,000
医療法人社団天宣会	千葉エンゼルクロス	女子	1	500,000
東京フットボールクラブ株式会社	FC 東京	男子	1	500,000
トヨタ自動車株式会社	トヨタ自動車サンホークス	男子	1	500,000
トヨタ車体株式会社	トヨタ車体クインシーズ	女子	1	500,000
一般社団法人東京ヴェルディクラブ	東京ヴェルディ	男子	1	500,000
富士通株式会社	富士通カワサキレッドスピリッツ	男子	1	500,000
一般社団法人 KUROBE アクアフェアリーズ	KUROBE アクアフェアリーズ	女子	1	500,000
株式会社 PFU	PFU ブルーキャッツ	女子	1	500,000
NPO 法人阪神バレーボールコミュニティ	兵庫デルフィーノ	男子	1	500,000
株式会社きんでん	きんでんトリニティーブリッツ	男子	1	500,000
トヨタモビリティ東京株式会社	トヨタモビリティ東京スパークル	男子	1	500,000
グリーン・サポート・システムズ株式会社	GSS 東京サンビームズ	女子	1	500,000
ぎふ農業協同組合	JA ぎふリオレーナ	女子	1	500,000
NPO 法人アザレア・バレーボール振興会	埼玉アザレア	男子	1	500,000
株式会社 VC 長野クリエイティブスポーツ	VC 長野トライデンツ	男子	1	500,000
一般社団法人ブレス浜松	ブレス浜松	女子	1	500,000
株式会社信州スポーツプロモーション	長野 GaRons	男子	1	500,000
株式会社 VOREAS	ヴォレアス北海道	男子	1	500,000
株式会社ヴィアティン三重ファミリークラブ	ヴィアティン三重	男子	1	500,000
NPO 法人 NBK dreamers	奈良ドリーマーズ	男子	1	500,000
株式会社群馬銀行	群馬銀行グリーンウイングス	女子	1	500,000
株式会社プレステージ・インターナショナル	プレステージ・インターナショナル アランマーレ	女子	1	500,000
株式会社姫路ヴィクトリーナ	ヴィクトリーナ姫路	女子	1	500,000
NPO 法人 Mirriso スポーツ	サフィルヴァ北海道	男子	1	500,000
ルートインジャパン株式会社	ルートインホテルズブリリアント アリーズ	女子	1	500,000
一般社団法人千葉ライズ	千葉 ZELVA	男子	1	500,000
株式会社クボタ	クボタスピアーズ	男子	1	500,000
アイシン辰栄株式会社	アイシンティルマーレ	男子	1	500,000
株式会社プロス	フォレストリーヴズ熊本	女子	1	500,000
合計	(49 法人) (50 チーム)		62	31,000,000

#### 4. 役員一覧

2021年6月30日現在

代表理事 (会長)	くにぶ ひろゆき 國分 裕之	1958年(昭和33年)4月13日生 第14期～第15期理事 全日空商事(株) 取締役副社長
理事 (副会長)	ふくだ みねお 福田 峰夫	1951年(昭和26年)11月4日生 (株)オフィスM 代表取締役
理事	みよし とおる 三好 徹	1947年(昭和22年)4月15日生 第2期～第15期理事 三好総合法律事務所 所長
理事	かやしま あきら 萱嶋 章	1957年(昭和32年)10月4日生 第8期～第15期理事 (公財)日本バレーボール協会 ハイパフォーマンス事業本部 女子強化副委員長 久光製薬(株) 上席執行役員、SAGA久光スプリングス(株) 代表取締役
理事	しまおか けんじ 嶋岡 健治	1949年(昭和24年)5月9日生 第10期理事(副会長)、第11期～第15期代表理事会長 (公財)日本バレーボール協会 代表理事
理事	まつおか ひろたか 松岡 宏高	1970年(昭和45年)1月22日生 第10期～第15期理事 早稲田大学 教授、ホッケージャパンリーグ 理事
理事	はやの ようじ 早野 容司	1960年(昭和35年)3月3日生 第6期～第11期監事、第12期～第15期理事 (公財)日本バレーボール協会ハイパフォーマンス事業本部 男子強化副委員長 (株)ジェイテクト 営業本部 執行副本部長
理事	やまもと みちひこ 山本 道彦	1966年(昭和41年)9月1日生 第12期～第15期理事 FCNT(株) 経営管理本部長代理兼総務人事統括部長 富士通カワサキレッドスピリッツ ゼネラルマネージャー兼監督
理事	おおばやし もとこ 大林 素子	1967年(昭和42年)6月15日生 第14期～第15期理事 (株)ホリプロ、スポーツキャスター
理事	かじ よしのり 鍛冶 良則	1955年(昭和30年)8月12日生 第15期理事 (公財)日本バレーボール協会 業務執行理事・事務局長 東京2020大会準備室 室長
理事	にしお ひろき 西尾 博樹	1965年(昭和40年)4月18日生 第14期～第15期理事 プレステージ・インターナショナルアランマーレ ゼネラルマネージャー

理事	やまもと たかひろ 山本 隆弘	1978年(昭和53年)7月12日生 (株)T-FIVE 代表取締役 JVA アスリート委員会 委員長
理事	しもむら えいじ 下村 英士	1959年(昭和34年)10月31日生 (一財)広島県バレーボール協会 専務理事 (公財)広島県スポーツ協会 理事
理事	すぎやま あけみ 杉山 明美	1965年(昭和40年)3月1日生 (公財)日本バレーボール協会 評議員 (株)クリスタル・SUGIYAMA AKEMI 代表取締役
理事	こいけ のりこ 小池 徳子	1962年(昭和37年)9月17日生 公認会計士小池事務所
監事	ながた まさと 永田 将人	1958年(昭和33年)10月29日生 第11期～第12期理事、第14期～15期監事 デンソーエアリービーズ 部長
監事	よこい としひろ 横井 俊広	1960年(昭和35年)3月8日生 第14期～第15期監事 (一社)愛知県バレーボール協会 理事・副会長 TG SPORTS(株) 代表取締役社長、ウルフドッグス名古屋 SGM TG ウェルフェア(株)取締役 社長、豊田合成健康保険組合 理事長

